

#### SDGs達成に向けた具体的な取組（要件2）

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																	
					1 	2 	3 	4 	5 	6 	7 	8 	9 	10 	11 	12 	13 	14 	15 	16 	17 	
8		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	有害化学物質を取り扱わない、大気・水質には意識を持って事業をしています。			3.9			6	7							12	13.3	14	15	
9		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	大企業のような取り組みは無理でも、日々の省エネをHPなどで紹介していく。														12.6				
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	エネルギー・ミックス、信頼できるエネルギー供給会社を常に選択していきます。							7.2							13				
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	持続可能な消費、廃棄ロスの減少はもちろんのこと、天然資源の再活用にも積極的に取り組む。													12.2	13	14	15		
22		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	リーガルマインドを第一とし、司法へのアクセスを妨げない。																		16 16.5
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	あらゆるレベルにおいて有効で説明のできる透明性ある取引を徹底する。																		16
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	他社の権利を尊重し、自社の研究にも積極的に取り組む。												8.2 8.3	9					
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	法の正義のもとで情報を管理し、責任ある取り扱いをしている。																		16
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	確認している。																		16
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	取引先とのコミュニケーションを図り、考えられるあらゆる悪影響について相互に理解していく取り組みを持つ。						5			8	10		12	13	14	15	16	17	
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品や商品を通じ、人の健康と職を通じた楽しみの提供を第一とし、安心安全の確保を優先させる。			3.9											12.4				
29		【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	地産地消、地域に根差し生産者の顔の見える商品と、安心安全な生産・消費システムを大事にしていく。											9							
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	生産者も含めて持続可能な商品化と消費を促している。						6								12	13	14	15	
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	広く多くの産業形態の方が関わる地域ブランドの開発を目指している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs(17ゴールと169ターゲット)関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
社会貢献・ 地域資源	32	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域事業者との関りを深くし、自社だけではなく地域の中で一 体となって目標を読み解く活動を提案する。				4					9		11	12		14	15		17
	33	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	常により良いパートナーシップが取れるように、出来ることを当 たり前に行える教育をしている。				4								11		14	15		17
	34	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	地域密着、生産者、製造者の顔が見える距離を大事に事業 展開を行っている。									8	9		11	12	13			
組織体制	35	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化している。社員一人一人が同じベクトルを もって、企業理念を遂行している。									8	9							17
	36	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	リーガルマインドを第一としコンプライアンスに向き合う。																	16
	37	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	一人ひとりが企業の代表という意識で、包括的に社会に寄与 出来るようにしている。																	16
	38	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把 握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	ステークホルダーの利益がすなわち自社の発展である。対 話と公正をもって発展していく。																16	17
	39	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	リスクを洗い出し、検証と評価を継続していく。																	16
	40	【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility:企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動 が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSR方針を徹底し、過程について都度検証する。																	16
	41	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	事故や災害に対しての強靭さと柔軟な適応と行動を話し合っ ている。										9		11		13	13.1		16
	42	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	持続可能な経済成長、社会貢献についての可能性を探り、 企業内努力を続けている。									8	9							17

#### 上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

#### 【記載留意事項】

- 「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
  - 「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
  - 「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。
- また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。
- （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるばし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）